

令和7年度 斑点米カメムシ類による玄米の被害調査結果

1 調査の概要

(1) 調査サンプル・粒数

中通り…15 サンプル・339,890 粒

会 津…10 サンプル・225,756 粒

浜通り…10 サンプル・231,589 粒

合 計…35 サンプル・793,235 粒

(2) 調査方法

巡回調査は場各1か所から25株（直播は2m3列）を刈り取り、脱穀調整後、1.8mm以上500gの全粒について斑点米の被害状況を調査した。

2 斑点米混入率

斑点米混入率は、中通りで平年より高く、会津、浜通りで平年並だった（図1）。

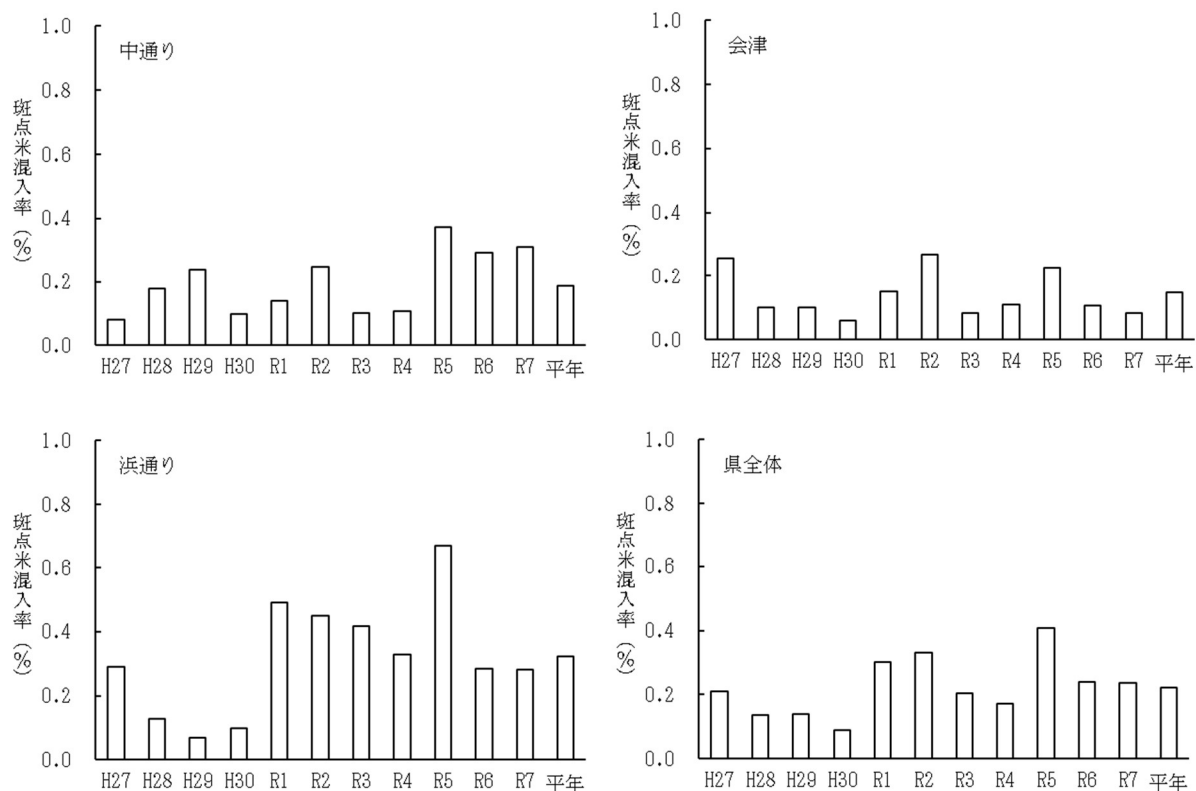


図1 斑点米混入率の年次推移（地域別）

3 地域別の主な加害種

玄米の被害形状及び本田すくい取り調査の結果から推測した主な加害種は、カスミカメムシ類（県全体）、ホソハリカメムシ（県全体）、クモヘリカメムシ（中通り、浜通り）だった。

本年は、中通り及び会津でカスミカメムシ類による被害の割合が低かった（図2）。

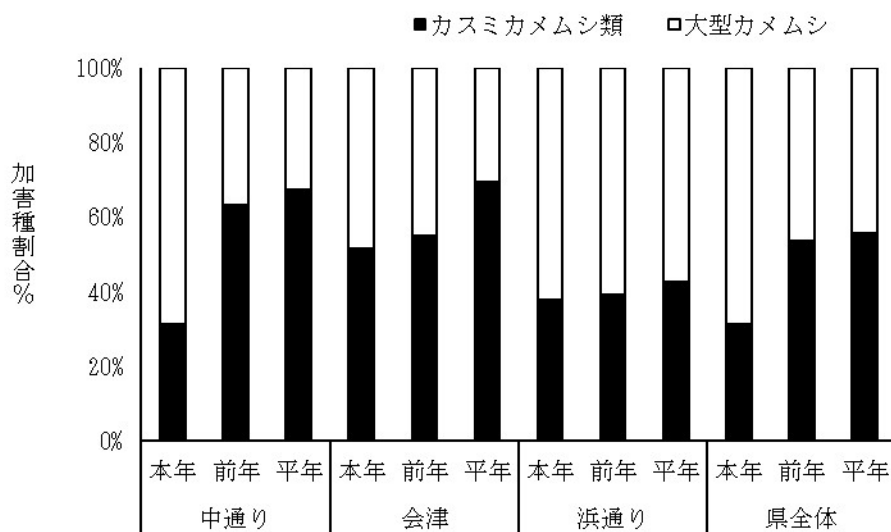


図2 玄米の被害から推測した斑点米の加害種別割合（%）

注）カスミカメムシ類：アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ

大 型 カ メ ム シ：ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ等